大腸癌全国登録委員会議事録

日時 第84回大腸癌研究会・2016年6月30日(木) 10時～11時
場所 会場：グランフロント大阪コンベンションセンター ルーム1

議題

参加者 浅野（あさのクリニック）、山内（医科歯科、石黒代理）、猪股（大分）、固武（栃がん）、小林（広尾）、小森（愛知がん）、落合（国立がん、金光代理）、松本（駒込）、敬称略

議題1 前回会議議事録案の確認
・前回議事録が確認された。

議題2 報告事項

- 1) 登録作業の進捗状況（2007年治療例登録状況）
74施設 9057例 現在データクリーニング中。
- 2) 2016年1月～6月登録情報利用申請（2件申請あり）
国立がん研究センター中央病院 金光先生
→プロジェクト研究 ノモグラム
防衛医科大学校 神藤先生
→リンパ節検討委員会

議題3 討議事項

- 1) NCD利活用について
 - ① 本登録データのカバー率は6～7%で推移している。現状では、疾病や治療に関する全国的な傾向を把握することは難しい。その対策として、NCDが計画しているがん登録に参加し、一般施設から少数項目を入力してもらうことが以前より討議されてきた。現在システム費用について確認中。委員からは慎重に検討すべきとの意見が多かった。
 - ② 大腸癌研究会参加施設のがん登録については現状のままファイルメーカーで詳細項目を集積することが確認された。
 - ③ 大腸癌研究会参加施設でも全国登録に参加していない施設が過半数であり、これを増やす方策を別途検討すべきとの意見が浅野委員よりあった。

- ④ 大腸癌研究会以外の施設がNCDを通じて登録する際の項目についてはすでに以前の委員会で決定されているが、項目数をより少なくすべきかを並行して検討していく。
- ⑤ 杉原会長より何を目的として一般施設からの情報を集積するかについて議論するよう意見があった。

2) 今後の活動について

- ① 前回、全国登録データを電子媒体による閲覧やダウンロード(PDF)が可能とすべきことが提案され、こちらは広報委員会に掲載可能かを確認中。
- ② 全国登録報告書の内容については、簡素化やグラフ化、英文誌への投稿等審議を継続することとなった。

(文責：小林宏寿)